

20 年 月

2. 輸血実施患者について(延べ人数)

* :延べ人数:午前0時からの24時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えてください

(例:3日連続輸血⇒延べ人数 3)

(例:結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時および日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2)

同種血 名 自己血 名 アルブミン 名

男女別年代別(同種血のみ)

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
男								
女								

3. 血液製剤及び自己血の使用について

アルブミン、自己血は必要に応じて小数点入力してください

※赤血球製剤には全血製剤も含まれます

※科別分類が無理な施設は「その他」に使用量を入力してください

	使用量			科別使用量				
				内科	外科	小児科	産婦人科	その他
①赤血球製剤(単位)								
②血小板製剤(単位)								
③血漿製剤(パック数)	血漿交換分							
FFP-LR-120								
FFP-LR-240								
FFP-LR-480								
④アルブミン(グラム数)								
⑤自己血(リットル)	貯血	回収	希釈					

* 細分類可能な施設	血液内科	消化器内科	循環器内科	消化器外科	胸部外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	その他
①赤血球製剤(単位)									
②血小板製剤(単位)									
③血漿製剤(パック数)									
FFP-LR-120									
FFP-LR-240									
FFP-LR-480									
④アルブミン(グラム数)									
⑤自己血(リットル)									

4. 血液製剤及び自己血の廃棄について

①赤血球製剤	<input type="text"/>	単位
②血小板製剤	<input type="text"/>	単位
③血漿製剤		
FFP-LR-120	<input type="text"/>	パック
FFP-LR-240	<input type="text"/>	パック
FFP-LR-480	<input type="text"/>	パック
④自己血(貯血)	<input type="text"/>	リットル

内科: 消化器科・循環器科・呼吸器科・腎臓科・内分泌科・糖尿病科
 膠原病科・リウマチ科・アレルギー科・血液内科・神経内科・
 心療内科・精神科・感染症科・腫瘍科・放射線科・皮膚科など

外科: 消化器外科・胸部外科(呼吸器外科・心臓血管外科)・乳腺外科
 甲状腺外科・小児外科・肛門科・泌尿器科・整形外科・眼科
 脳神経外科・耳鼻科・麻酔科・歯科など

その他: 救急等で内科・外科・小児科・産婦人科のいずれにも分類できない
 場合